

「ウォーターフロント シンポジウムin沖縄」 開催



堀江謙一さん

コーディネーター

小濱 哲(名桜大学教授)

パネリスト

堀江 謙一(海洋冒険家)

高樹 沙耶(女優)

青木 義典(ウォーターフロント開発協会)

安里 香織(みなとまちづくり女性フォーラム)



トーク&トーク「港・海への想い」

三月十五日、沖縄市において、那覇港湾空港工事事務所後援の「ウォーターフロントシンポジウムin沖縄」が開催されました。

シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッション形式の「トーク&トーク」の二部構成で行われ、海に囲まれながら海を充分に活かしていきたくない沖縄のウォーターフロント空間を、一般市民を含めみんなで考えようと多くの人が集まりました。

講演者には、小型ヨットで一九六二年に単独太平洋横断を成し遂げた海洋冒険家の堀江謙一さんと、女優でありそして、スクーバダイビングでも活躍する高樹沙耶さんを迎えました。講演後、堀江さん、高樹さんと名桜大学の小濱教授、ウォーターフロント協会の青木専務理事、地元を代表して中城湾港みなとまちづくり女性フォーラムの安里香織さんを交え、「港・海への想い」と題した「トーク&トーク」が行われました。

堀江さんはヨットで海に親しみ、高樹さんは海で遊ぶことの楽しさをお話されたのに対し、地元の安里さんが意外にも「地元の人は海で遊ばないんですよ」と話されたのには高樹さんからは「もったいない!」の声があがり、会場からも笑いがあつて、終始和やかムードな「トーク&トーク」でした。又、来場者の意見として、「海に囲まれた沖縄での海の利用が、今議論されるのは遅すぎるほど。海を汚さないことと同時に海の利用の促進を」という声や「あらためて海の素晴らしさを知った」、「このような催しを県内各地で開催して欲しい」などの声がありました。

沖縄は独特の歴史、文化、芸能のあるところ。今後どこにもない沖縄



高樹沙耶さん